

(様式5)

令和元年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県関市立関商工高等学校 学校番号 63

I 自己評価

1 学校教育目標	「至誠明朗」の校訓を体し、知・徳・体の調和のとれた創造的・人間性豊かな実践力のある地域社会人の育成を図る。		
2 評価する領域・分野	商業専門部		
3 現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	学習に関する調査では、専門科目に対する興味、関心が他教科に比べ、高い状況にある。授業等進路実現に向けた資格取得の支援及び指導を続けることにより、興味・関心、意欲を更に高める努力が必要である。		
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	(1) 確かな学力の定着を図り、高度資格取得への挑戦意欲を高める。 (2) 学校・地域・家庭との繋がりを大切にし、体験学習やキャリア教育を進めると共に達成感や成就感を高め、進路決定の意識向上と実現を図る。 (3) 広報活動の充実を図り、中学校へのPR活動を推進する。 (4) 進学クラス生徒の進路実現に向けて職員の共通理解を深める。 (5) Sekishoko Company 運営の充実と、商工連携・地域連携に向けた具体的活動を推進する。		
5 重点目標を達成するための校内組織体制	商業専門部会議・コース主任会議・教科担当者会議等 その他、情報交換や指導力向上のための研究・研修会		
6 目標達成のための具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標		
(1) 資格取得と基礎・基本科目の修得 ア 1年生の全商検定の合格に向けた指導 イ 2・3年生の目標検定合格に向けた指導 (2) 地域との連携 ア 地元企業Web作品制作 イ 関商工シティの実施 ウ 商品開発の実施(2社) エ 関の台所マルシェ、商業達人カップ 富加町民まつり等への出店 (3) 広報活動 ア 総合ビジネス科の魅力を広報する イ 学科パンフレットのリニューアル (4) 進学クラス 進路実現に向けた職員間の連携を図る。 (5) 株式会社運営 株式会社運営の実務面で中心的役割を担う	(1) 資格取得と基礎・基本科目の修得 ア 受験した検定結果分析 イ 各自の目標への取組状況と結果分析 (2) 地域との連携 ア 実習の様子と成果 イ 取り組み姿勢と販売貢献度 ウ 取り組み姿勢と販売貢献度 エ 取り組み姿勢と販売貢献度 (3) 広報活動 サマーミーティングや一日体験入学の参加状況・本校希望者概数や高校入試における出願者数 (4) 進学クラス 3年生の進路先の合格状況や校外模試の結果 (5) 株式会社設立・運営 教員の取組状況・生徒による取締役会の取組状況		
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価	
(1) 検定試験等の実施 (2) 刃物まつり、商品開発等の実施 (3) 専門部としての中学校訪問	(1) 設定した資格が取得できたか (2) 計画・実施・反省と事後変化 (3) 訪問時の様子や中学校の対応	A B C D A B C D A B C D	
11 成果課題	○地域協働活動として、地元企業とのSTEAM教育、商品開発等連携できた。 ○関の台所マルシェ、商業達人カップなど様々な行事へ積極的に参加できた。 ○総合ビジネス科パンフレットをリニューアルし、中学校への広報が充実した。 ○各コース達成度は概ね良好であった。本校で初めて日商1級に2名合格した。 ●刃物まつりが中止となり、以後生徒のモチベーションを高めるのに苦労した。		総合評価 A B C D
12 来年度に向けての改善方策案 授業力向上のための研究や研修会を実施し、次世代を担う教員養成をしていく。イベント中止時の対応を検討しておく。HPの更新、パンフレット改善、中学校への広報活動を積極的に行う。			

II 学校関係者評価

実施年月日 令和2年1月22日

【意見・要望・評価等】 今回、商業科を見学させていただき、設備がとても充実していて素晴らしいと思った。また研究発表では、生徒が物怖じせず堂々と発表している姿を見て、心強く素晴らしいと感じた。先生方のご指導の賜物である。また地域と連携した活動を行っていることを知り、可能であるならば我々地域住民と一緒に地域を盛り上げる活動ができればと思う。要望として、今回はより実践的な授業を見学してみたい。
